

平成24年度事業計画書

(平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

財団法人DNP文化振興財団

平成24年度 事業計画書

(平成24年4月1日～平成25年3月31日まで)

1. アーカイブ事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行う。【寄付行為 第5条(1)、(3)、(6)】

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化やその適正・有効な活用をはかるための調査、研究を行うと共に、作品、資料、調査研究の成果を公開する。調査研究の成果については、アニュアルレポート等の刊行物や、Web サイト等で公表する。

平成24年度は、田中一光ポスターアーカイブ、福田繁雄ポスターアーカイブ、永井一正ポスターアーカイブの寄託品を海外の美術館等へ寄贈する活動を継続して推進し日本のグラフィックデザインのプレゼンスを高める。
ポスターアーカイブは、追加寄贈いただける作家からの体系的な寄贈を受け入れる。所蔵するアーカイブをデジタルデータに変換・保存し、データベース化する作業は継続的に進める。デジタル画像として整理するシステムを新たに検討し、解像度の異なる作品掲載依頼などの要望にスムーズに対応する。

(1) 田中一光アーカイブ

平成20年秋に寄贈を受けた田中一光アーカイブは、ポスター作品に関するデータは、データベースに登録済み。平成24年度は、平成23年度に新たな保管場所から追加寄贈を受けた作品の整理とデータベースの精緻化を進める。

(2) ポスターアーカイブ

デザイナー100名、作品10,000点の収集を目標とする。現時点では、国内72作家、海外48作家、計120作家を収蔵している。

平成24年度は、すでに寄贈いただいているデザイナーの追加収蔵を3名と新たに2名の寄贈を予定している。

併せて、コレクションの体系化のための調査を進め、利用・公開のためのデータベースを整備する。これにより Web サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請に対応する。

(3)タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成23年度も引き続き、CCGAに収蔵する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された1,000点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGAにて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

・事業費:26,900千円

2. 展示事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【寄付行為 第5条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の3展示施設で開催する。

平成24年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

第312回(8月)には、gggと関係の深い富山県立近代美術館が開催する世界規模のポスターコンテスト(世界ポスター トリエンナーレ トヤマ)が10回目の開催となることを記念して、過去の優秀作品を集めた企画展を開催する。また、第314回(10月)には、当財団がサポートしている世界グラフィック連盟(AGI)日本事務局と連携して、国内のAGI会員、世界のAGI会員の作品を一覧するグローバルな企画展を予定している。

ddd、CCGAには、今年度1月にgggで開催した田中一光ポスター展ほか、上記、世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展等を巡回する予定。

CCGAでは、第59回企画展として、昨年震災の影響で開催できなかった、福島を拠点に活動する版画家とリスボンの版画家グループ「アグア・フォルテ」によるグループ展、「版で発信する作家たち:after 3.11」を開催。

ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 308 回 2012TDC 展	4/2(月)～4/25(水)
第 309 回 キギ 植原亮輔・渡邊良重展	5/8(火)～5/30(水)
第 310 回 ジャンピン・へ展 (ドイツ)	6/5(火)～6/28(木)
第 311 回 2012ADC 展	7/4(水)～7/28(土)
第 312 回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展	8/2(木)～8/28(火)
第 313 回 寄藤文平展	9/3(月)～9/28(金)
第 314 回 AGI 企画展	10/4(木)～10/27(土)
第 315 回 横尾忠則ブックデザイン展	11/1(木)～11/27(火)
第 316 回 テセウス・チャン展 (シンガポール)	12/3(月)～12/25(火)
第 317 回 松永真展	1/10(木)～1/31(木)
第 318 回 石岡瑛子追悼展	2/6(水)～2/28(木)
第 319 回 永井一正アーカイブ展	3/6(水)～3/30(土)

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 185 回 田中一光ポスター展 (巡回展)	3/21(水)～5/11(金)
第 186 回 2012 TDC 展 (巡回展)	5/22(火)～7/6(金)
第 187 回 立花文穂展 (巡回展)	7/17(火)～9/5(水)
第 188 回 2012ADC 展 (巡回展)	9/13(木)～10/26(金)
第 189 回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ展(巡回展)	11/6(火)～12/21(金)
第 190 回 GRAPHIC WEST(5)	1/17(月)～3/2(土)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 59 回 版で発信する作家たち : after 3.11	3/1(木)～6/3(日)
第 60 回 田中一光ポスター展 (巡回展)	6/9(土)～9/9(日)
第 61 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.24	9/15(土)～12/24(月)
冬期休館	12/25(火)～2/28(木)
未定	3/1(金)～6/9(日)

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

・事業費:643,160千円

3. 教育・普及事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【寄付行為 第5条(4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることがを目的に、講演会、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成24年度、ggg Books 発行予定は4点、アニュアルレポートは、8月に発行予定とする。

ggg Books は、101号目にあたる次号以降、従来の仕様をベースに発行を継続し、より自由度の高い電子書籍版、オンデマンド・ブック版の企画も並行して進める。

また、田中一光アーカイブを活用して、同氏の作品と業績に関するグラフィックデザイン界、および美術・デザイン史における位置づけを、国際的な視野のなかで、広く調査・研究することに関して計画を進める。

ギャラリートークのネット配信は、昨年スタートしたユーストリーム中継を継続し、来場ができなかった不特定多数の方々が参加できるものとする。また、そのダイジェスト版を当財団のWEBサイト上で配信できるよう講演者の協力を得よう努力する。

また、従来の展覧会と連動したギャラリートークに限らず、来日したグラフィックデザイナーの講演会をgggセミナー会場で開催し、中継システムを活用し普及に努める。

デザイン系・アート系の学生を対象とするイベント(セミナーやワークショップ)を開催し、次世代のグラフィック文化の普及を図る。

須賀川CCGAにおいて、地元の版画文化振興と連動する版画工房ワークショップの開催計画を推進する。また、実験的にスタートしたCCGAのFaceBookサイトの運営を継続し、ネットワークコミュニティを通じた活動アピールも継続する。

図書の刊行：平成24年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を2点(発行予定作家：ジャンピン・ヘ、テセウス・チャン)、「ggg Books 別冊」を2点(発行予定作家：横尾忠則、松永真)発行する。

田中一光アーカイブを活用した田中一光関連出版物の刊行計画の推進。

海外(韓国、台湾、中国他)での財団刊行物の翻訳版の出版をサポートする。

アニュアルレポート発行：平成24年度は、「アニュアルレポート 11-12」を8月に発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 12-13」の企画・編集を開始する。

ギャラリートーク：平成24年度は ggg(銀座)で12回、ddd(大阪)で5回開催予定。

また、セミナーのネット中継は、インターネット(ユーストリーム中継)を通じ配信する。

ホームページ：新鮮な情報発信とインターネットを活用した展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、申込みなどを的確に運用する。

・事業費：95,310千円

4. 国際交流事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【寄付行為第5条(5)】

平成24年度は、gggにて2回の海外作家の展覧会を開催して、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。海外作家らの講演会を、展覧会活動と連動し、来日日程に合わせて開催する。

国内の他のグラフィック団体(東京アートディレクターズクラブ(ADC)、東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等)と連携し、企画展を巡回する。また、平成22年度にdddで開催した Graphic West 3 展(phono/graph)をドイツへ巡回し、斬新な日本グラフィックデザインの動向を紹介する。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。(AGI総会は、今秋に香港で開催予定)

・事業費: 7,000千円

5. 研究助成事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【寄付行為 第5条(7)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアートに関する研究者の活動を支援するため、「歴史」、「国際動向」、「教育」、「社会との関わり」、「技術動向」等、芸術文化の普及、振興に資する優れた研究テーマや刊行物等に助成する。

CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた助成・協賛を継続する。

・事業費: 1,500千円

6. 収益事業

CCGA における喫茶の提供を継続する。また、他社および作家によって企画製造されたグッズ、出版物等を販売する事で、グラフィックアート、グラフィックデザインの普及を目指す。

・事業費: 60千円

以上